

永山まちづくり実行委員会

令和 8 年度 地域活動計画

< 記載項目 >

1	地域まちづくりの地域目標	1
2	令和 8 年度事業計画	1
3	令和 8 年度永山まちづくり推進協議会の事業実施体制一覧	2
4	令和 8 年度各事業の一覧（総括表）	3
5	永山まちづくり実行委員会名簿、規約	5
6	各事業の詳細（事業計画書・委員名簿）	8
7	平成 2 7 ～令和 7 年度の事業経過	24

1 永山地域まちづくりの地域目標

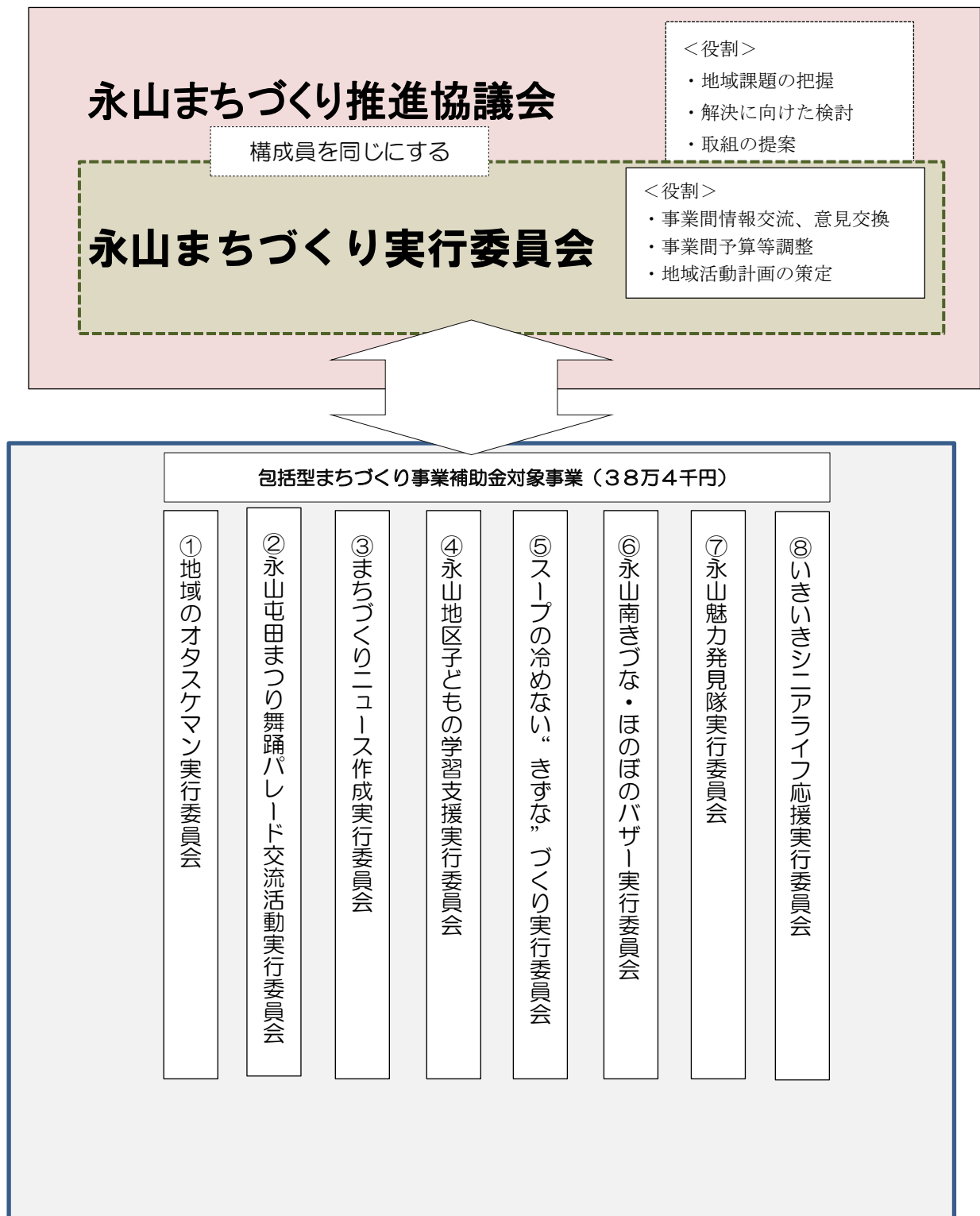
屯田の歴史を引き継ぐ地域住民が結束したまちづくり

2 令和8年度事業計画（包括型まちづくり事業補助金対象事業）

事業計画書

事業名	永山まちづくり推進事業
事業の目的・実施内容	1 事業の目的 様々な地域課題に対応するため、事業を実施する各実行委員会が互いに情報共有し連携・調整することで、課題に対し効率的かつ効果的な解決策の対応を図り、地域力の更なる向上を目指すことを目的とする。 2 実施内容 永山まちづくり推進協議会において作成された「永山まちづくり推進プログラム」に基づき各種事業の企画・実施を行う。 各事業の進捗状況を共有し、効率的かつ効果的に行われるよう全体の事業調整等や、事業の実施に伴う効果や課題等を整理し報告する。 なお、地域活動計画に基づく包括型まちづくり事業は、次のとおり。 ○実施主体 ～ 永山まちづくり実行委員会 (1) 地域のオタスケマン事業 [事業主体：地域のオタスケマン実行委員会] (2) 令和8(2026)年度「第40回永山屯田まつり」永山屯田まつり舞踊パレード交流活動事業 [事業主体：永山屯田まつり舞踊パレード交流活動実行委員会] (3) まちづくりニュース作成事業 [事業主体：まちづくりニュース作成実行委員会] (4) 永山地区子どもの学習支援事業 [永山地区子どもの学習支援実行委員会] (5) スープの冷めない“きずな”づくり事業 [スープの冷めない“きずな”づくり実行委員会] (6) 永山南きずな・ほのぼのバザー事業 [永山南きずな・ほのぼのバザー実行委員会] (7) 永山魅力発見隊事業 [永山魅力発見隊実行委員会] (8) いきいきシニアライフ応援事業 [いきいきシニアライフ応援実行委員会]
事業期間	令和8年4月1日 から 令和9年3月31日 まで

3 令和8年度永山まちづくり推進協議会の事業実施体制一覧



1) 包括型まちづくり事業補助金対象事業（予算額38万4千円） … 8事業

事業名称	事業内容等	補助費 (総事業費)	実行体制	備考
1 地域のオタスケマン事業	・町内会や地域のボランティア活動等について、地域の小学校等の授業を通じて宣伝・普及する。	5千円 (5千円)	地域のオタスケマン実行委員会 (会長：葛西 輝昭) 委員数：4名	
2 令和8(2026)年度「第40回永山屯田まつり」永山屯田まつり舞踊パレード交流活動事業	・「永山屯田まつり舞踊パレード」に、旭川市立大学の学生並びに教職員の有志がパレードの運行に参加協力することで、地元の祭りを盛り上げ、市民委員会と大学とのつながりをつくる。	5千円 (5千円)	永山屯田まつり舞踊パレード交流活動実行委員会 (会長：工藤 芳美) 委員：8名	
3 まちづくりニュース作成事業	・永山まち協の活動実績をまとめたまちづくりニュースを発行し、活動を周知する。	50千円 (50千円)	まちづくりニュース作成実行委員会 (会長：桑畠 保夫) 委員：6名	
4 永山地区子どもの学習支援事業	・原則毎週月曜日に永山公民館を学習室として開放し、学習室を利用している子どもたちへの学習支援や見守りを行う。	30千円 (30千円)	永山地区子どもの学習支援実行委員会 (会長：桑畠 保夫) 委員：6名	永山公民館と連携し、開催。
5 スープの冷めない“きずな”づくり事業	・旭川市立大学短期大学部、大学生、地元農業者、地域住民等が連携し、高齢者等の食の健康・人とのつながりによる心の健康維持を行う。	100千円 (100千円)	スープの冷めない“きずな”づくり実行委員会 (会長：橋坂 いずみ) 委員：6名	
6 永山南きずな・ほのぼのバザー事業	・障がい者や高齢者が社会や地域とつながるバザーを開催する。	50千円 (50千円)	永山南きずな・ほのぼのバザー実行委員会 (会長：桑畠 保夫) 委員：13名	
7 永山魅力発見隊事業	・永山地域の知られていない魅力あるスポットを、永山地域の住民で再発見する「永山魅力発見ツアー」を開催する。 ・ツアーを通じて発見した永山地域の魅力を、チラシ等で発信する。	74千円 (74千円)	永山魅力発見隊実行委員会 (会長：塩尻 曜子) 委員：6名	

8 いきいきシニア ライフ応援事業	・地域住民が自らの学び を地域へ還元すること で、孤立がちな高齢者等 への支援を実現するとと もに、支援を行う住民自 身に日常生活の張り合い を育む。	70 千円	いきいきシニアライ フ応援実行委員会 (会長：高橋 玲子) 委員：6 名	
----------------------	---	-------	---	--

5 永山まちづくり実行委員会名簿

敬称略 令和8年4月1日現在

氏 名	ふりがな	所属団体等
入谷 敏雄	いりたに としお	永山南地区市民委員会
葛西 輝昭	かさい てるあき	永山地区市民委員会連絡協議会
紙谷 忠志	かみや ただし	永山第三地区社会福祉協議会
岸本 修	きしもと おさむ	北海道旭川農業高等学校
岸山 絵里子	きしやま えりこ	旭川市立大学短期大学部
北村 尚也	きたむら たかなり	新旭川・永山南地区包括支援センター
木村 珠妃	きむら たまき	公募委員
工藤 芳美	くどう よしみ	永山第二地区市民委員会
桑畠 保夫	くわはた やすお	公募委員
島田 成人	しまだ しげひと	あさひかわ商工会
土田 雅起	つちだ まさき	永山南地区社会福祉協議会
野坂 政由	のさか まさよし	永山西地区民生委員児童委員協議会
福島 将恭	ふくしま まさやす	永山地域包括支援センター
松田 姫奈	まつだ ひな	公募委員
村井 博幸	むらい ひろゆき	永山南西地区市民委員会
安友 久善	やすとも ひさよし	旭川市消防団
計		16名

「永山まちづくり実行委員会」会則

(名 称)

第1条 本会は、「永山まちづくり実行委員会」(以下「会」という。)と称する。

(目 的)

第2条 会は、永山まちづくり推進協議会(以下「協議会」という。)の所管区域において、協議会の意見を踏まえた地域の活動計画(以下「活動計画」という。)に基づく、各種事業を束ねる体制を構築し、地域内の横連携を促進するとともに、多様化する地域課題に柔軟かつ計画的に実行することにより、地域力の向上を図ることを目的とする。

(組 織)

第3条 会は、次に掲げる者で構成する。

- (1)活動計画に基づく、各種事業を実施している団体の長及びその団体に所属している者。
- (2)会が特別に認めた者。

(事 業)

第4条 会は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 活動計画に基づく、各種事業の企画・実施及び総括・事業調整
- (2) その他、目的を達成するために必要と認められる事業

(役員の選任)

第5条 会に次の役員を置く。

- (1)会 長 1名
- (2)副会長 複数名
- (3)会 計 1名
- (4)監 査 1名

(役員の職務)

第6条 会長は、会を代表し、会務を総括するとともに、会議の進行を担う。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 会計は、会の会計を担当する。
- 4 監査は、会の会計を監査する。

(役員任期)

第7条 役員任期は、選任の日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠により就任した役員任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第8条 会議の招集は会長が行う。

- 2 会議の開催は、会員の過半数の出席をもって成立する。ただし、やむを得ないときは、委任状をもって出席に代えることができる。
- 3 議事の決定は、出席総数の過半数をもって成立する。

(経費)

第9条 会の運営に要する経費は、補助金、助成金、寄付金、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第10条 会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年 3月 31 日までとする。

(事務所)

第11条 会の事務所は、会長宅に置く。

(補則)

第12条 この会則に定めるもののほか、必要な事項については、その都度、会議を招集してこれを定める。

附 則

- 1 この会則は、平成29年3月29日から施行する。
- 2 会の初年度の会計年度は、第 10 条の規定にかかわらず、会の設立した日から当該年度の 3 月 31 日までとする。

6 各事業の詳細（各実行委員会・事業計画及び実行委員会名簿）

6-1 包括型まちづくり事業補助対象事業

1) 地域のオタスケマン事業

事業計画書

（地域のオタスケマン実行委員会）

事業名	地域のオタスケマン事業
事業の目的・内容	1 事業の目的 小学生・中学生のうちから、町内会や地域のボランティア活動について理解・実践してもらう。 2 実施内容 これまでは永山西小学校の3年生を対象に、市民委員会・町内会や地域のボランティア活動について、授業を行ってきましたが、この授業を徐々に永山地域に広げたい。
事業期間	令和8年4月から令和9年3月まで

事業収支予算

収入

（単位：円）

区分	金額	内容
補助金	5,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	5,000	

支出

（単位：円）

区分	金額	内容
消耗品費	5,000	・印刷用インク・チラシ・用紙代
計	5,000	

地域のオタスケマン実行委員会 委員名簿

敬称略 令和8年4月現在

氏 名	役 職	所属団体
葛西 輝昭	会長	永山第三地区市民委員会
森川 俊美	副会長	永山第三地区市民委員会
工藤 芳美	会計	永山第二地区市民委員会
村井 博幸	監査	永山南西地区市民委員会
計		4 名

2) 永山屯田まつり舞踊パレード交流活動事業

事業計画書

(永山屯田まつり舞踊パレード交流活動実行委員会)

事業名	令和8(2026)年度「第40回永山屯田まつり」永山屯田まつり舞踊パレード交流活動事業
事業の目的・内容	1 事業の目的 令和8(2026)年度「第40回永山屯田まつり」の「永山屯田まつり舞踊パレード」に、旭川市立大学の学生並びに教職員の有志が参加することを通じ、永山第二地区市民委員会(屯田まつり実行委員会)の皆さんと大学(学生並びに教職員)とのつながりをつくる。 2 実施内容 永山第二地区市民委員会(屯田まつり実行委員会)主催、令和8(2026)年度「第40回永山屯田まつり」の「永山屯田まつり舞踊パレード」に、旭川市立大学の学生並びに教職員の有志がパレードの運行に参加協力することで、地元の祭りを盛り上げる。 <事業主体> 永山第二地区市民委員会 公立大学法人旭川市立大学 <連携窓口> 永山第二地区市民委員会 旭川市立大学連携推進局
事業期間	令和8年4月から令和9年3月まで

事業収支予算

収入

(単位:円)

区分	金額	内容
補助金	5,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	5,000	

支出

(単位:円)

区分	金額	内容
消耗品費	3,000	
事務費	2,000	
計	5,000	

永山屯田まつり舞踊パレード交流活動実行委員会 委員名簿

敬称略 令和8年4月現在

氏 名	役 職	所属団体
工藤 芳美	会長	永山第二地区市民委員会
平井 敏夫	副会長	永山第二地区市民委員会
渡辺 佳則	委員	永山第二地区市民委員会
佐藤 朗	委員	永山第二地区市民委員会
石井 幸一	会計	永山第二地区市民委員会
石澤 千江好	委員	永山第二地区市民委員会
金森 智恵	委員	永山第二地区市民委員会
任 賢宰	委員	公立大学法人旭川市立大学
計		8名

3) まちづくりニュース作成事業

事業計画書

(まちづくりニュース作成実行委員会)

事業名	まちづくりニュース作成事業
事業の目的・内容	1 事業の目的 永山まちづくり推進協議会の各実行委員会が地域の課題解決のために実施している事業について、地域の方々に広く知ってもらうことを目的とする。 2 実施内容 永山まちづくり推進協議会の活動実績をまとめた「永山まちづくり推進協議会NEWS」を発行し、市内各施設等へ設置するほか、市内の地域まちづくり推進協議会の活動実績を紹介する「地域まちづくり推進協議会パネル展」で配布する等、当協議会の活動を周知する。
事業期間	令和8年4月から令和9年3月まで

事業収支予算

収入

(単位:円)

区分	金額	内容
補助金	50,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	50,000	

支出

(単位:円)

区分	金額	内容
消耗品費	50,000	・印刷費(振込代込) ・原稿作成用インクカートリッジ代
計	50,000	

まちづくりニュース作成実行委員会 委員名簿

敬称略 令和8年4月現在

氏 名	役 職	所属団体
選任中	会長	
選任中	副会長	
選任中	会計	
選任中	監査	
島田 成人	委員	あさひかわ商工会
松本 浩司	委員	旭川公園ゲストハウス
計		6名

4) 永山地区子どもの学習支援事業

事業計画書

(永山地区子どもの学習支援実行委員会)

事業名	永山地区子どもの学習支援事業
事業の目的・内容	1 事業の目的 永山図書館の休館日である月曜日に、永山公民館音楽室を学習室として児童・生徒等に開放する。開放時は、旭川市立大学の学生ボランティアが見守りを行うとともに、予習・復習、宿題等の学習支援を行うことで学力の向上を図る。 2 事業内容 大学生のボランティアが、自主学習を行っている児童・生徒等の見守りを行うとともに、求めがあれば予習・復習、宿題等の学習支援を行う。自習室開放は原則毎週月曜日の午後3時から午後5時までの年間44回実施予定。
事業期間	令和8年4月から令和9年3月まで

事業収支予算

収入 (単位:円)

区分	金額	内容
補助金	30,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	30,000	

支出 (単位:円)

区分	金額	内容
消耗品費	30,000	A4用紙・プリンターインク購入等
計	30,000	

永山地区子どもの学習支援実行委員会 名簿

敬称略 令和8年4月現在

氏 名	役 職	所属団体
桑島 保夫	会長	永山西地区民生委員児童委員協議会
荒川 遥葵	副会長	G r o w U P (旭川市立大学サークル)
佐藤 信希	会計	G r o w U P (旭川市立大学サークル)
若林 蓮人	監査	G r o w U P (旭川市立大学サークル)
山口 凌	委員	G r o w U P (旭川市立大学サークル)
吉田 玲央	委員	G r o w U P (旭川市立大学サークル)
計		6 名

5) スープの冷めない“きずな”づくり事業

事業計画書

(スープの冷めない“きずな”づくり実行委員会)

事業名	スープの冷めない“きずな”づくり事業
事業の目的・内容	1 事業の目的 永山圏域でも独居高齢者、高齢者世帯等が増えつつあり、自宅に閉じこもりがちになっている方も多く、人とのつながりが今まで以上に希薄になりつつある。地域のアンケートの結果、低栄養状態、低栄養リスクのある高齢者が多いことが明らかになった。そこで、人が生きていくうえで大切な「食」を中心とした「野菜スープ」をキーワードとし、永山の農業関係者と地域の方との連携による健康の増進と、人とのつながりによる心の健康維持を目的とする。 2 実施内容 町内会等と協力し、高齢者等を対象に、野菜スープの宅配をする。学生が、高齢者宅を訪問し、高齢者との交流を深める。 対象者：永山圏域内のモデル地域等を検討して決める。 実施参加団体：旭川市立大学短期大学部お料理研究サークル、旭川市立大学、デイサービス生きる音、永山在住農業者、永山地域包括支援センター、各町内会、 協力機関：永山支所
事業期間	令和8年4月から令和9年3月まで

事業収支予算

収入 (単位:円)

区分	金額	内容
補助金	100,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	100,000	

支出 (単位:円)

区分	金額	内容
消印費	100,000	食材費、容器など
計	100,000	

スーパの冷めない“きずな”づくり実行委員会 委員名簿

敬称略 令和8年4月現在

氏 名	役 職	所属団体
橋坂 いずみ	会長	デイサービス生きる音
山川 八重子	副会長	農業者
豊島 琴恵	会計	公立大学法人旭川市立大学短期大学部
高橋 通江	監査	永山地域包括支援センター
佐藤 麻紀	委員	旭川市社会福祉協議会 地域まると支援員
選任中	委員	
計		6 名

6) 永山南きづな・ほのぼのバザー事業

事業計画書

(永山南きづな・ほのぼのバザー実行委員会)

事業名	SDGs に取り組もう ～永山南きづな・ほのぼのバザー～
事業の目的・内容	1 事業の目的 障がい事業所が作成したパンや地域企業の商品を認知症当事者や障がい者が役割を担いながら販売するバザーを開催することで、「認知症になったら、障がい者になったら何もできない!」というイメージを払拭しつつ、当事者が活躍でき、再度、社会に繋がることができる場とする。 地域の施設や住民が絆を深めながら活躍することで、「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」という SDGs の目標を達成する役割を担い、地域社会との関わりを持つことにつなげる。 2 実施内容 ・永山南きづな・ほのぼのバザーの企画・会議の実施 ・認知症、障がい当事者の方の活動の場の提供 ・開催について地域への周知活動と地域住民の参加促進 ・地域企業との連携 3 事業主体 永山南きづな・ほのぼのバザー実行委員会 4 実施日及び場所(予定) 令和8年9～10月頃 永山住民センター(日程・会場共に案) 事前の準備会議等は随時予定
事業期間	令和8年4月から令和9年3月まで

事業収支予算

収入

(単位:円)

区分	金額	内容
補助金	50,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	50,000	

支出

(単位:円)

区分	金額	内容
印刷費	20,000	永山南地域世帯分案内チラシ印刷費
広告費	30,000	開催周知広告折込費
計	50,000	

永山南きづな・ほのぼのバザー実行委員会 委員名簿

敬称略 令和8年4月現在

氏 名	役 職	所属団体
桑島 保夫	会長	永山西地区民生委員児童委員協議会
土田 雅起	副会長	永山南地区社会福祉協議会
古川 稔	会計	永山南地区社会福祉協議会
田中 誠康	監査	新旭川・永山南地域包括支援センター
室岩 麻美	委員	グループホームライラック
野田 真理子	委員	
野村 美春	委員	グループホームゆとり
寺井 松子	委員	住宅型老人ホームあんじゅ一番館
大久保 義一	委員	指定障害福祉サービス事業所 旭川ヒューマンサービスセンター
正木 太良	委員	旭川市社会福祉協議会 地域まるごと支援員
佐藤 麻紀	委員	旭川市社会福祉協議会 地域まるごと支援員
萩澤 しげ子	委員	新旭川・永山南地域包括支援センター
北村 尚也	委員	新旭川・永山南地域包括支援センター
計		13名

7) 永山魅力発見隊事業

事業計画書

(永山魅力発見隊実行委員会)

事業名	永山魅力発見隊事業
事業の目的・内容	1 事業概要 永山地域のまだ知られていない魅力あるスポットを、永山地域の住民で再発見する。その魅力を広く周知し、永山地域のより一層の魅力向上へつなげる。 2 実施内容 永山地域のまだ知られていない魅力あるスポットを、永山地域の住民で再発見する「永山魅力発見ツアー」を開催する。 参加者等からのアンケート等をもとに、ツアーを通じて発見した永山地域の魅力を、チラシ等で発信する。 3 事業主体 永山魅力発見隊実行委員会 4 実施日時等 実行委員会で決定する。
事業期間	令和8年4月から令和9年3月まで

事業収支予算

収入

(単位:円)

区分	金額	内容
補助金	74,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	74,000	

支出

(単位:円)

区分	金額	内容
消耗品費	74,000	ツアー募集、ツアーレポートチラシ印刷代
計	74,000	

永山魅力発見隊実行委員会 委員名簿

敬称略 令和8年4月現在

氏 名	役 職	所属団体
塩尻 曜子	会長	永山南西地区市民委員会
松本 浩司	副会長	旭川公園ゲストハウス
岸山 修	会計	北海道旭川農業高等学校
上野 砂由紀	監査	上野ファーム
増見 典弘	委員	セブンイレブン旭川永山7条店、旭川永山6条店
高山 修	委員	株式会社 ウミトソラ
計		6名

8) いきいきシニアライフ応援事業

事業計画書

(いきいきシニアライフ応援実行委員会)

事業名	いきいきシニアライフ応援事業
事業の目的・内容	1 事業概要 令和5年、永山地域包括支援センターと地域まると支援員（旭川市社会福祉協議会）、永山3区第2町内会が共同で地域住民向けのアンケートを実施した。結果、高齢者世帯が多いこと、軽度認知障害の方への支援が必要な世帯が複数あること、運動教室は多いがその他の教室が少ないことなどが挙げられ、認知症予防教室の必要性を感じた。その後、住民主体で「認知症予防教室」を立ち上げ、現在約20名程度（軽度認知障害の方を含む）参加している。 今後の活動として、参加者がこのクラブで学んだことを地域に還元できる活動を企画した。閉じこもりがちな高齢者等への支援をクラブ参加者が行い、地域で孤立する高齢者等を支えることを目的に事業を開催したい。 2 実施内容 クラブの参加者が講座で学んだことを地域に還元し、お互い支えあえる、自分も地域貢献できる人として日常に張り合いをもって生活してもらう。 (1) 食育講座・クッキング講座の学びから、地域住民向けランチサービス（お弁当の配達）を開催する。 (2) 手芸教室の学びから、雑貨を作成し、一人暮らしのシニア層を訪問し、お渡しする。 (3) 運動系の講座で学んだことを、住民向けのお楽しみ会を企画し披露、地域の方にその運動を普及する。
事業期間	令和8年6月から令和9年3月まで

事業収支予算

収入

(単位:円)

区分	金額	内容
補助金	70,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	70,000	

支出

(単位:円)

区分	金額	内容
消耗品費	63,000	食材費 600円×60名分 (36,000円) 手芸等材料費 200円×60名分 (12,000円) 講師の謝礼 (3回分) 5,000円×3回分
	7,000	事務用品等
計	70,000	

いきいきシニアライフ応援実行委員会 委員名簿

敬称略 令和8年4月現在

氏 名	役 職	所属団体
高橋 玲子	会長	学研教室永山教室
松本 明美	副会長	永山東地区民生委員児童委員協議会
青木 衣里	会計	永山東地区民生委員児童委員協議会
高橋 通江	監査	永山地域包括支援センター
岡部 江里子	委員	永山3区第2町内会
福島 将恭	委員	永山地域包括支援センター
計		6名

7 平成 27～令和 7 年度の事業経過

○平成 27 年度 … 2 事業

「永山 S O S ネットワーク」、「地域自主除排雪（冬みち守り隊）」の 2 事業について実施。

事業名称	事業内容	事業費（決算）	実行体制	備考
1 永山 S O S ネットワーク事業	・設立準備 （検索フロー等） ・フォーラム開催	169,962 円 主体的な地域づくり事業で実施	永山 S O S ネットワーク推進委員会 （会長：工藤博視）	平成 27 年度は都市部、農村部は平成 28 年度に拡充。
2 地域自主除排雪事業	・地域説明会 ・パトロール ・自主除排雪	36,539 円 地域協働事業（地域提案型）で実施	冬みち守り隊 （隊長：葛西輝昭）	少雪により自主除排雪に至らなかった。

○平成 28 年度 … 8 事業

「永山 S O S ネットワーク」、「地域自主除排雪（冬みち守り隊）」の 2 事業（継続事業）に、「経済活性化中長期計画策

定」「永山地域文化振興」「エコなお食事会」「エコマップの制作」「きづな推進事業」「永山メディカルネットワーク（包括型健康講演会）」の 6 事業を新規に実施。

事業名称	事業内容	事業費（決算）	実行体制	備考
1 永山 S O S ネットワーク事業	・農村部拡充 ・フォーラム開催	99,994 円 主体的な地域づくり事業で実施	永山 S O S ネットワーク推進委員会 （会長：工藤博視）	第二地区は平成 29 年度から自主運営移行。
2 地域自主除排雪事業	・地域説明会 ・パトロール ・自主除排雪	34,455 円 地域協働事業（地域提案型）で実施	冬みち守り隊 （隊長：葛西輝昭）	永山地域全体への波及まで支援予定
		94,770 円 地域協働事業（地域提案型）で実施	冬みち守り隊	本格実施による体制整備（2 次募集で追加支援）
3 経済活性化中長期計画の策定事業	・準備会 （今後の進め方）	0 万円	永山地域経済活性化検討会 （会長：河田祐也）	まち協の中で提案された課題についての取組 H28 進め方 H29 地域調査等
4 永山地域文化保存・振興事業	・意見交換 ・課題抽出 ・事業化検討	19,992 円 主体的な地域づくり事業で実施	永山地域文化振興実行委員会 （会長：信木晴雄）	永山地域歴史保存（聞き取り調査）企画（H28 年度～H30 年度）他
5 エコなお食事会（エコな地域づくり事業）	・エコなお食事会の企画・開催	156,700 円 地域協働事業（行政提案型）で実施 ※自己資金 56,700 円	ながやま農家の食卓でエコなお食事会事業実行委員会 （会長：中瀬佳子（J A あさひかわ永山支所女性部長））	永山地域でモデル事業として実施
6 エコマップの作成（エコな地域）	・地域聞き取り調査 ・エコ商店登録	100,420 円 地域協働事業（行政）	ながやま食べきり協力店マップ事業実行	永山地域でモデル事業として実施

づくり事業)	・エコマップの作成	提案型)で実施 ※自己資金 420 円	委員会 (会長: 江口尚文 (旭川大学教授)	
7 きづなカフェ事業	・きづなカフェの企画開催 ・認知症徘徊対策	246,766 円 地域協働事業 (地域提案型) で実施	永山南地区きづな推進事業実行委員会 (会長: 井上静幸 (永山南地区きづな連絡協会会長))	地域協働事業 (地域提案型) 二次募集採択
8 永山メディカルネットワーク事業	・メディカルネットワーク体制整備 ・地域啓発	29,759 円 主体的な地域づくり事業で実施	永山地域医療専門家連携会実行委員会 (会長: 伊藤広也)	H28 地域啓発体制整備 H29 講演会事業体制拡充

○平成 29 年度 … 9 事業

包括補助 (永山トライアル) のスタート。

包括補助枠で 7 事業を実施。また、包括補助枠以外では、地域協働事業 (地域提案型) により「世代間交流事業」、地域協働事業 (行政提案型) により「エコマップ事業」を実施。

事業名称	事業内容	事業費 (決算)	実行体制	備考
包括補助 (永山トライアル) 7 事業				
1 永山 SOS ネットワーク事業	・地域研修会の開催 ・ヒトココ習熟訓練 ・地域アンケート ・地域への周知	79,397 円	永山 SOS ネットワーク推進委員会 (会長: 山田幸作)	第二地区の独立運営に伴って、永山南・南西地区中心に、第二、第三地区からも委員が就任した永山地域全体の実行組織化。
2 地域自主除排雪事業	・地域説明会 ・パトロール ・自主除排雪 ・独居高齢者宅目印設置	42,822 円	冬みち守り隊 (隊長: 葛西輝昭)	第三、南西地区で構成していた実行委員会に、第二、南地区も加わり、永山地域全体の実行組織化。
3 経済活性化中長期計画の策定事業	・地域住民アンケート設計実施 ・事業者意見交換 ・基本計画 (素案)	35,151 円	永山地域経済活性化中長期計画策定検討会 (会長: 河田祐也)	まち協で提案された課題についての取組 H28 進め方 H29 地域調査等 H30 アクションプラン
4 永山地域文化保存・振興事業	・地域郷土史発行に係る聴き取り調査 ・若年層への啓発	31,804 円	永山地域文化振興実行委員会 (会長: 信木晴雄)	永山地域郷土史 (聞き取り調査) 企画他
5 エコなお食事会 (エコな地域づくり事業)	・エコなお食事会の企画実施	280,000 円 ※自己財源 180,000 円	ながやま農家の食卓でエコなお食事会事業実行委員会 (会長: 藤井やよい)	交流センターの他、住民センターや 3 区会館でも実施 (拡充)。
6 きづなカフェ事業	・きづなカフェの企画開催	78,430 円 ※自己財源	永山南地区きづな推進事業実行委員会	地域協力体制を得て、地域に定着し

	・認知症徘徊対策	26,300 円	(会長：桑嶋保夫)	た。場所の確保が課題。
7 永山メディカルネットワーク事業	・講演会（3回） ・メディカルネットワーク体制整備	58,696 円	永山地域医療専門家連携会実行委員会 (会長：伊藤広也)	地域のかかりつけ医によるスタイルが好評。医療関係者のネットワーク拡充中。
地域協働事業（地域提案型）				
1 永山地域世代間交流事業	4 事業。 ・たなばた夏祭り ・昔遊び ・クリスマス ・アイスクャンドル	100,000 円 ※自己財源 50,000 円	永山地域世代間交流事業実行委員会 (会長：工藤博視)	
地域協働事業（行政提案型）				
2 エコマップの作成（エコな地域づくり事業）	・地域聞き取り調査 ・エコ商店登録 ・エコマップ（Vo12）の制作	100,000 円	ながやま食べきり協力店マップ事業実行委員会 (会長：江口尚文)	

○平成 30 年度 … 14 事業

包括補助（永山トライアル）2 年目。

包括補助枠 10 事業、地域協働事業（行政提案型）1 事業、地域協働事業（地域提案型）3 事業を実施した。

事業名称	事業内容	事業費（決算）	実行体制	備考
包括補助（永山トライアル） 10 事業				
1 永山SOSネットワーク事業	・ヒトコソ機器の取得活動、習熟訓練 ・搜索手引き等マニュアル作成 ・搜索ネットワークの作成 ・地域周知活動、説明会。地域アンケートの実施。	56,397 円	永山SOSネットワーク推進委員会 (会長：山田幸作)	永山地域全体の実行組織化（第二、南、南西、第三地区）。第二は独立運営。平成 31 年度～永山南、南西地区が独立運営化へ。
2 地域自主除排雪事業	・地域事業説明会、自主除排雪の指導 ・地域パトロールの実施 ・間口除雪の目印設置拡充 ・地域排雪用地確保	18,081 円	冬みち守り隊 (隊長：葛西輝昭)	永山地域全体の実行組織化（第三、南西地区、第二、南地区）。

3 経済活性化中長期計画の策定事業	・地域住民ニーズの分析 ・中長期計画及び短期アクションプラン策定	0 円	永山地域経済活性化中長期計画策定検討会 (会長：河田祐也)	H29 地域調査等 H30 中長期計画 本年度で終了予定。
4 永山地域文化保存・振興事業	・永山地域史保存（冊子作成） ・地域文化芸能普及 ・文化活動情報発信	683,257 円 ※自己財源 580,000 円	永山地域文化振興実行委員会 (会長：信木晴雄)	永山地域郷土史（聞き取り調査）企画 他
5 エコなお食事会（エコな地域づくり事業）	・エコなお食事会の企画実施	154,500 円 ※自己財源 94,500 円	ながやま農家の食卓でエコなお食事会事業実行委員会 (会長：藤井やよい)	3 地域実施（交流センター、住民センター、3 区会館）拡充。 平成 31 年度～、独立運営化へ。
6 きづなカフェ事業	・きづなカフェの企画実施 ・地域周知，地域アンケート ・常設開催の検討	88,498 円 ※自己財源 27,200 円	永山南地区きづな推進事業実行委員会 (会長：桑島保夫)	地域協力体制を得て、地域に定着。 定期開催の場所、運営財源を確保し、31 年度～独立運営化へ。
7 永山メディカルネットワーク事業	・講演会（3 回） ・メディカルネットワーク体制整備	22,746 円	永山地域医療専門家連携会実行委員会 (会長：伊藤広也)	地域のかかりつけ医によるスタイルが好評。医療関係者のネットワーク拡充中。
8 永山地域世代間交流事業	4 事業の企画実施 ・七夕&夏祭（8 月） ・昔遊び&食事づくり（10 月） ・クリスマス（12 月） ・アイスクャンドル（2 月）	130,000 円 ※自己財源 70,000 円	永山地域世代間交流事業実行委員会 (会長：工藤博視)	平成 29～30 年度、まち協事業で実施。 平成 30 年度で事業終了予定。
9 永山地域防災啓発事業	・HUG 研修の企画実施	13,943 円	永山地域防災啓発事業実行委員会 (会長：渡辺英雄)	防災啓発の重要性から、まち協提案により、事業組織化。
10 永山地域共生型コミュニティづくり事業	・共生型コミュニティのあり方検討（構想策定）	4,278 円	永山地域共生型コミュニティづくり事業実行委員会 (会長：高木恵)	国提案の共生型地域づくりをテーマに、地域提案により、事業組織化。
地域協働事業（地域提案型）3 事業				

1 絵手紙アート教室事業	・絵手紙アート教室の企画実施	49,906 円	絵手紙アート教室実行委員会 (会長：葛西輝昭)	地域提案により、事業組織化。
2 みんなの学校上映会事業	・みんなの学校上映会の企画実施	90,810 円	みんなの学校上映会永山地区実行委員会	地域提案により、事業組織化。
3 バリアフリータウン事業	・ボッチャ、ウィルチェアーアジャタ体験会の企画実施 (1月、2月、3月)	300,088 円 ※自己財源 88 円	バリアフリータウン永山実行委員会	地域提案により、事業組織化。
地域協働事業（行政提案型） 1 事業				
1 エコマップの作成（エコな地域づくり事業）	・地域聞き取り調査 ・エコ商店登録 ・エコマップ（Vo13）の制作	101,202 円 ※自己財源 1,202 円	ながやま食べきり協力店マップ事業実行委員会 (会長：江口尚文)	

○令和元年度 … 11 事業

包括補助（永山トライアル）3 年目。

包括補助枠 8 事業、地域協働事業（地域提案型）3 事業を実施した。

事業名称	事業内容	事業費（決算）	実行体制	備考
包括補助（永山トライアル） 8 事業				
1 地域自主除排雪事業	・地域事業説明会, 自主除排雪の指導 ・地域パトロールの実施 1/11 2/23 ・間口除雪の目印設置拡充 ・地域排雪用地確保	5,322 円	冬みち守り隊 (隊長：葛西輝昭)	永山地域全体の実行組織化（第三、南西地区、第二、南地区）。
2 永山地域文化保存・振興事業	・文化活動情報発信 地域史の頒布、発刊報告会。	20,178 円	永山地域文化振興実行委員会 (会長：信木晴雄)	地域史 400 部を教育施設、町内会を中心に頒布。

3 永山メディカルネットワーク事業	・講演会（3回） 4/21 64名参加 10/20 66名参加 （11/23 永山南きずな主催実施） ・ネットワーク整備	43,903 円	永山地域医療専門家連携会実行委員会 （会長：伊藤広也）	医療関係者のネットワーク拡充中。 介護施設、包括支援センターと連携し R2 より自立。
4 永山地域防災啓発事業	・住民向けの研修会 2回開催 9/5 参加者 55 名 10/27 参加者 55 名	49,978 円	永山地域防災啓発事業実行委員会 （会長：佐藤任夫）	防災啓発の重要性から、まち協提案により、事業組織化。
5 永山地域・共生型コミュニティづくり事業	・地域食堂 2 回実施 8/18 30 名 11/10 29 名	60,000 円 ※自己資金 10,000 円	永山地域共生型コミュニティづくり事業実行委員会 （会長：高木恵）	地域の人たちの交流の場として地域食堂の開催
6 絵手紙アート教室事業	・絵手紙アート教を 2回開催。 7/27 参加者 21 名 1/11 参加者 20 名	39,700 円	絵手紙アート教室実行委員会 （会長：大山主税）	青少年事業として、子ども達が参加しやすい夏休み、冬休みの開催とした。
7 バリアフリースポーツ普及事業	・ボッチャ、ウィルチェアーアジャタ体験会 5/12、6/9、7/4、9/15、10/13、2/9	69,948 円	バリアフリータウン永山実行委員会 （会長：本間健司）	永山地域に障害、高齢者を問わずできる軽スポーツの普及
8 永山まちづくりの集い実行委員会	・H30 年度まち協補助を受けている実行委員会の発表会の実施 11/3 参加者 96 名	49,979 円	永山まちづくりの集い実行委員会 （会長：桑島保夫）	5 事業の発表、各事業、高校のパネル展、地域中学生のマンドリン演奏、大学生によるラーメン販売、ボッチャ体験
地域提案型 3 事業				
1 旭川大学とデイサービス「生きる音」との合同演奏会事業	・高齢者向けクリスマスコンサート実施 12/15：参加者 96 名 旭川大学吹奏楽部の他食物栄養学科の菓子販売も実施	12,465 円 ※自己資金 2,465 円	学生と高齢者の合同演奏会実行委員会 （会長：信木晴雄）	コンサートの実施に伴い、学生（吹奏楽部）とデイサービス利用者との世代間交流が図られた。
2 わっこプロジェクト事業	・旭川大学教職課程の学生と永山東小学校との交流会の実施	19,235 円	わっこプロジェクト実行委員会 （会長：松本浩司）	地域、大学、農家、小学校の交流。お互いの求めるものが合致

	1/19 於：旭川大学 参加者 12 名			した形での事業実施 が図られた。
3 子どもの未来応援事業	・卒業を控えた小学生と夢を実現した先輩との交流会を計画。3/17：永山小	0 円	子どもの未来応援 実行委員会 (会長：石本一三)	新型コロナウイルス 対策により中止

○令和 2 年度 … 13 事業

包括補助（永山トライアル）4 年目。

包括補助枠 12 事業、地域協働事業（地域提案型）1 事業を実施した。

事業名称	事業内容	事業費（決算）	実行体制	備考
包括補助（永山トライアル）12 事業				
1 地域自主除排雪事業	・各市民委員会への 自主説明会 ・除排雪状況パトロール	1,255 円	冬みち守り隊 (隊長：葛西輝昭)	除排雪状況パトロール。 2/21 むつみ町内会 にて、参加 10 名。
2 永山地域文化 存・振興事業	・永山地域文化振興 ・地域文化芸能普及	0 円	永山地域文化振興 実行委員会 (会長：信木晴雄)	永山屯田郷土資料館 の保存資料調査。
3 永山地域防災啓 発事業	・防災啓発チラシ 「もしも災害がおきたら」とするチラシを永山地域に全戸配布。(10 月)	87,420 円	永山地域防災啓発 事業実行委員会 (会長：佐藤任夫)	
4 永山地域共生型 コミュニティづくり事業	・学生とデイサービス利用者との交流。 雪だるま制作による交流。参加 20 名 ・コミュニティ新聞発行。町内会班回覧	40,863 円 (自己資金 0 円)	永山地域共生型コミュニティづくり 事業実行委員会 (会長：高木恵)	新型コロナウイルスへの対応から地域食堂は中止。
5 絵手紙アート教室（青少年育成）事業	・絵手紙アート教室の開催。 1/10 永山公民館 参加者 10 名	45,172 円	絵手紙アート教室 実行委員会 (会長：大山主税)	コロナウィルス感染拡大防止から夏期は中止とし、冬期は小人数とするなど、予防に配慮し実施。

6	バリアフリース スポーツ普及事業	・ボッチャ体験会。 永山市民交流セン ターで4回開催。 10/11(8名参加) 11/8(22名) 2/7(25名)3/7(33名)	64,650円	バリアフリータウ ン永山実行委員会 (会長:本間健司)	永山地域に障害、高 齢者を問わずできる 軽スポーツの普及
7	旭川大学とデイ サービス「生き る音」との合同 演奏会事業	・デイサービス施設 内での交流。 デイサービス施設 内で実施した、相互 の演奏を編集し、 YouTubeで動画公開	10,000円	学生と高齢者の合 同演奏会実行委員 会 (会長:信木晴雄)	新型コロナウイルス への対応から対面で の演奏会は変更。
8	わっこプロジェ クト事業	・旭川大学教職員課 程と永山東小学校と 地域との連携 ・オンライン学校 「夢源学園」を開 催。(永山東小を対 象にZoomで授業)	28,863円	わっこプロジェク ト実行委員会 (会長:松本浩司)	7/18 ミニミニ運 動会 「夢源学園」 第1回「学校旗・短 冊作り」12/20 第2回「書き初め、 韓国教室」1/17
9	地域のオタスケ マン事業	・「町内会ってなあ に」出前授業 12/14, 永山西小3 年生, 100名参加。	0円	地域のオタスケマ ン実行委員会 (会長:葛西輝昭)	町内会の仕組みや活 動をテーマに地域の 人が授業。
10	旭川大学の屯 田まつり支援 事業	・市民委員会と学生 との連携。 ・屯田まつりの学内 サークルを準備。	7,337円	旭川大学の屯田ま つり支援実行委員 会(会長:鈴木健太)	コロナ対応から屯田 まつりは中止。
11	永山第三SO Sネットワーク 事業	・第三地区に見合っ たSOSネットワーク 構築の協議。4回 8/24, 10/26, 11/16, 3/1	0円	永山第三SOSネ ットワーク実行委 員会 (会長:紙谷忠志)	
12	まちづくりニ ュース作成事 業	・まちづくりニュー スの発行、配布。 3月1回。 ・パネル展に配置	31,072円	まちづくりニュー ス作成実行委員会 (会長:桑畠保夫)	配付は、市民委員会 等の協力で町内会班 回覧とする。
地域提案型 1事業(5事業)					
	事業名称	事業内容	事業費(決算)	実行体制	備考
1	子どもの未来応 援事業	・卒業を控えた小学 校の生徒と夢を実現 した先輩との交流会	1円	(子どもの未来応 援実行委員会)	コロナウイルス対応 により中止

2 農家の食卓と他の団体のコラボ事業	・農家の食卓と他の団体の連携開催	－円	(農家の食卓と他の団体のコラボ実行委員会)	コロナウイルス対応により中止
3 永山のスポーツ少年団応援事業	永山の小学校で行われる野球大会への応援参加を呼びかけ	－円	(永山のスポーツ大会応援実行委員会)	コロナウイルス対応により中止
4 田んぼで遊ぼう事業	・冬の田んぼで遊び、教室では得られない子どもの力を引出す	－円	(田んぼで遊ぼう実行委員会)	コロナウイルス対応により中止
5 永山地区子どもの学習支援事業	・児童生徒の学習スペース確保及び大学生による学習支援	50,190 円	永山地区子どもの学習支援実行委員会 (会長：桑島保夫)	・永山公民館貸室で毎週月曜に開催

○令和3年度 … 16 事業

包括補助(永山トライアル) 5 年目。

包括補助枠 13 事業、地域協働事業(地域提案型) 3 事業を実施した。

事業名称	事業内容	事業費(決算)	実行体制	備考
包括補助(永山トライアル) 13 事業				
1 地域自主除排雪事業	・各市民委員会への自主説明会 ・除排雪状況パトロール	9,009 円	冬みち守り隊 (隊長：葛西輝昭)	
2 永山地域文化保存・振興事業	・永山地域文化振興 ・地域文化芸能普及	7,178 円	永山地域文化振興実行委員会 (会長：信木晴雄)	永山武四郎宝物殿見学。
3 永山地域防災啓発事業	・防災意識の啓発	0 円	永山地域防災啓発事業実行委員会 (会長：佐藤任夫)	11 月 18 日、防災センター見学。
4 永山地域共生型コミュニティづくり事業	・地域食堂の代替となる交流事業を計画。	0 円	永山地域共生型コミュニティづくり事業実行委員会 (会長：高木恵)	新型コロナウイルスへの対応から地域食堂等の活動は中止。
5 絵手紙アート教室(青少年育成)事業	・絵手紙アート教室の開催。 1/9 永山公民館参加者 13 名	27,837 円	絵手紙アート教室実行委員会 (会長：小林由司)	コロナウイルス感染拡大防止から夏期開催は延期し、冬期に開催。

6 バリアフリースポーツ普及事業	・ボッチャ体験会。 永山市民交流センターで3回開催。	40,000 円	バリアフリータウン永山実行委員会 (会長：本間健司)	障害、高齢者を問わずできる軽スポーツの普及
7 旭川大学とデイサービス「生きる音」との合同演奏会事業	学生の演奏を収録した画像を背景に、デイサービス側で合奏。	9,544 円	学生と高齢者の合同演奏会実行委員会 (会長：信木晴雄)	新型コロナウイルスへの対応から対面での演奏会に変更。
8 わっこプロジェクト事業	・学生が大学中庭に設置した雪あかりを永山東小児童にオンデマンド配信。	5,894 円	わっこプロジェクト実行委員会 (会長：松本浩司)	新型コロナウイルスの影響から集会での交流は変更。
9 地域のオタスケマン事業	・「町内会ってなあに」出前授業 6/30, 永山西小学校3年生。	70,519 円	地域のオタスケマン実行委員会 (会長：葛西輝昭)	町内会の仕組みや活動をテーマに地域の人が授業。
10 旭川大学の屯田まつり支援事業	・屯田まつりの学内サークルを準備。	0 円	旭川大学の屯田まつり支援実行委員会 (会長：鈴木健太)	コロナ対応から屯田まつりは中止。
11 永山第三SOSネットワーク事業	・第三地区のSOSネットワーク構築を協議。2回 ・町内会長を対象としたアンケート。	6,254 円	永山第三SOSネットワーク実行委員会 (会長：紙谷忠志)	
12 まちづくりニュース作成事業	・まちづくりニュースの発行、全戸配布。 3月 1回。 ・パネル展に配置	103,954 円	まちづくりニュース作成実行委員会 (会長：桑島保夫)	永山地区に折り込みで全戸配付。(1万8千部)
13 永山地区子どもの学習支援事業	・児童生徒の学習スペース確保と大学生による学習支援	29,980 円	永山地区子どもの学習支援実行委員会 (会長：桑島保夫)	永山公民館貸室で毎週月曜に開催
地域提案型 3事業				

事業名称	事業内容	事業費（決算）	実行体制	備考
1 スープの冷めない“きずな”づくり事業	・高齢者世帯にスープとおにぎりを提供し、学生との交流を図る。	30,097 円	スープの冷めない“きずな”づくり実行委員会 (会長：橋坂いずみ)	
2 永山健康マイレージ事業	・健康づくりのため地域商業施設等をめぐるウォーキングコース、マップ作成。	49,779 円	永山健康マイレージ実行委員会 (会長：豊島琴恵)	
3 SDGs に取り組もう「永山南きづな・ほのぼのバザー」事業	・障がいを持った方も店員となり、ほのぼのバザー開催。	52,949 円	永山南きづな・ほのぼのバザー実行委員会 (会長：桑島保夫)	10 月 21 日、永山住民センター体育館で開催。

○令和 4 年度 … 11 事業

包括補助（永山トライアル）6 年目。

包括補助枠 11 事業を実施した。

事業名称	事業内容	事業費（決算）	実行体制	備考
包括補助（永山トライアル） 11 事業				
1 地域自主除排雪事業	・各市民委員会への自主説明会 ・除排雪状況パトロール	6,570 円	冬みち守り隊 (会長：葛西輝昭)	
2 永山地域文化保存・振興事業	・永山地域文化振興や地域文化芸能普及の検討	3,632 円	永山地域文化振興実行委員会 (会長：信木晴雄)	
3 地域のオタスケマン事業	・「町内会ってなあに」出前授業 6/21、永山西小学校 3 年生。	4,475 円	地域のオタスケマン実行委員会 (会長：葛西輝昭)	町内会の仕組みや活動をテーマに地域の人が授業。
4 旭川大学の屯田まつり支援事業	・屯田まつりの支援内容の検討。	0 円	旭川大学の屯田まつり支援実行委員会 (会長：信木晴雄)	

5 永山第三SOSネットワーク事業	・第三地区のSOSネットワーク構築を協議。 ・研修会の実施	24,946 円	永山第三SOSネットワーク実行委員会 (会長：葛西輝昭)	
6 まちづくりニュース作成事業	・まちづくりニュースの発行。 3月 1回。 ・パネル展や市内各施設に配置	25,175 円	まちづくりニュース作成実行委員会 (会長：桑島保夫)	今後市内各所で配布する。
7 永山地区子どもの学習支援事業	・児童生徒の学習スペース確保と大学生による学習支援	29,956 円	永山地区子どもの学習支援実行委員会 (会長：桑島保夫)	・永山公民館貸室で毎週月曜に開催
8 スープの冷めない“きずな”づくり事業	・高齢者世帯にスープとおにぎりを提供し、学生との交流を図った。	48,847 円	スープの冷めない“きずな”づくり実行委員会 (会長：橋坂いずみ)	
9 永山健康マイレージ事業	・健康づくりのためチラシ配布や講話を実施。	42,355 円	永山健康マイレージ実行委員会 (会長：豊島琴恵)	
10 SDGsに取り組もう「永山南きずな・ほのぼのバザー」事業	・バザー実施への検討。	0 円	永山南きずな・ほのぼのバザー実行委員会 (会長：桑島保夫)	コロナによりバザーは未実施。
11 永山南地域ボランティア養成事業	・ボランティア養成への打合せ ・高校生による除雪活動の実施。	0 円	永山南ボランティア養成実行委員会 (会長：増田晃)	

○令和5年度 … 11 事業

包括型まちづくり事業補助金 11 事業を実施した。

事業名称	事業内容	事業費（決算）	実行体制	備考
包括補助（永山トライアル） 11 事業				

1 地域自主除排雪事業	・実行委員会 ・住民説明会 ・除排雪パトロール 南西地区市民委員会 むつみ町内会 第三地区市民委員会	2,516 円	永山冬みち守り隊 (会長：葛西輝昭)	
2 永山地域文化保存・振興事業	・R 5 年度永山地区文化祭において、永山武四郎歴史資料館の所蔵品を展示した。	4,848 円	永山地域文化振興実行委員会 (会長：信木晴雄)	旭川市立大学の学生が、展示品の選定や展示を行った。
3 地域のオタスケマン事業	・6/29、町内会の仕組みや活動をテーマに永山西小3年生を対象に出前事業を実施 ・9/26、授業を受けた小学生、むつみ町内会、市民委員会、父兄等が自主的に地域のゴミ拾い活動を実施	0 円	地域のオタスケマン実行委員会 (会長：葛西輝昭)	
4 旭川市立大学の屯田まつり支援事業	・7/20、大学生と永山第二市民委員会女性部が踊りの練習、交流会を実施 ・7/30、大学生等34名が、第37回永山屯田まつり舞踊パレードに参加	0 円	旭川市立大学の屯田まつり支援実行委員会 (会長：信木晴雄)	
5 永山第三SOSネットワーク事業	・第三市民委員会 むつみ町内会地区でSOSネットワーク構築を協議 ・実行委員会5回 ・10/19、設立フォーラム開催 ・捜索ボランティアの登録 ・模擬訓練の実施	25,926 円	永山第三SOSネットワーク実行委員会 (会長：葛西輝昭)	・R 5 年 10 月 19 日 事務局設立

6 まちづくりニュース作成事業	・各実行委員会が実施した活動実績をまとめたまちづくりニュースを2,000部発行 ・パネル展や市内各施設等に配置	26,829 円	まちづくりニュース作成実行委員会 (会長：桑島保夫)	・今後市内各所で配布する。
7 永山地区子どもの学習支援事業	・旭川市立大生のサークルが、児童・生徒等の見守りや、宿題等の学習支援を実施 ・月曜日 42 回 参加者 129 名 大学生 78 名 ・夏休期間 2 回開催	29,926 円	永山地区子どもの学習支援実行委員会 (会長：桑島保夫)	・毎週月曜日 15～17 時、公民館音楽室で実施
8 スープの冷めない“きずな”づくり事業	・旭川市大短大部と永山の農家が連携し、高齢者世帯等にスープとおにぎりを提供し、学生や町内会関係からの声かけなど交流を行った。 ・10/21 第二永山団地 107 名 ・2/23 むつみ町内会 53 名	39,061 円	スープの冷めない“きずな”づくり実行委員会 (会長：橋坂いずみ)	・この事業を通じて、第二永山団地住民と農業者との“きずな”が深まり、地域マルシェ(野菜の直売)を2回開催した。
9 永山健康マイレージ事業	・お口の健康と低栄養予防の重要性を周知した。 ・10 月クッキング教室 ・11 月健康セミナー ・1 月抽選会	62,746 円	永山健康マイレージ実行委員会 (会長：豊島琴恵)	
10 永山南きずな・ほのぼのバザー事業	・10/12、永山こぼと会館で、永山南くづな・ほのぼのバザーを開催 ・認知症当事者や障がい者が、パンや木工作品の販売、赤い羽根共同募金の受付等を通じて、来場者と交流した。	45,709 円	永山南きずな・ほのぼのバザー実行委員会 (会長：桑島保夫)	・バザーでの売上げは共同募金に還元 ・バザーには、地元の男山(株)、きたかり(三葉成果(株))も協力した。
11 永山南地域ボランティア養成事業	・除雪に焦点を当て、ボランティアの発掘と体制づくりを進めた。 ・旭川永嶺高校と連携し、高齢者等除雪困難者	0 円	永山南ボランティア養成実行委員会 (会長：増田晃)	

	の除雪を実施			
12 高校生と高齢者の合同演奏会事業	・5/21、デイサービス生きる音利用者と、旭川志峯高校吹奏楽部が、永山公民館講堂で合同演奏会を開催。	30,000 円	高校生と高齢者の合同演奏会事業実行委員会 (会長：橋坂いずみ)	
13 永山魅力発見隊事業	・8/9、永山魅力発見ツアー開催 ・会場 旭川農業高校 上野ファーム ・参加者 永山西小・永山南小5・6年生 計9名	20,928 円	永山魅力発見隊実行委員会 (会長：塩尻曜子)	

○令和6年度 … 9事業

包括型まちづくり事業補助金9事業を実施した。

事業名称	事業内容	事業費(決算)	実行体制	備考
1 地域のオタスケマン事業	・6/14、町内会ボランティア活動、地域の見守り・防犯・交通安全等について、活動従事者が、永山西小3年生を対象に講話を行った。	0 円	地域のオタスケマン実行委員会 (会長：葛西輝昭)	
2 旭川市立大学の屯田まつり支援事業	・7/18、大学生と永山第二市民委員関係者が、屯田まつりに関する講話の聴講、屯田音頭の練習、永山の未来等を話し合う交流会を実施。 ・7/28、第38回永山屯田まつり舞踊パレードに、大学生と永山第二市民委員関係者が参加。	0 円	旭川市立大学の屯田まつり支援実行委員会 (会長：信木晴雄)	

3 まちづくりニュース作成事業	・各実行委員会が実施した活動実績をまとめた「永山まちづくり推進協議会NEWS」を2,000部発行 ・パネル展や市内各施設等に設置	21,543 円	まちづくりニュース作成実行委員会 (会長：桑島保夫)	・今後市内各所で配布する。
4 永山地区子どもの学習支援事業	・公民館音楽室で毎週月曜日午後3時から5時まで、大学生を中心とするボランティアが、自主学習を行っている児童・生徒等の見守り、予習・復習、宿題の支援を行った。	30,000 円	永山地区子どもの学習支援実行委員会 (会長：桑島保夫)	
5 スープの冷めない“きずな”づくり事業	・旭川市立大短大部の料理研究サークルの学生がメニューの作成と永山産の野菜を中心としたスープを調理。同大保健福祉学部コミュニティ福祉学科の学生も加わり、町内会役員やボランティアの協力の下、高齢者世帯等へ宅配し、交流を深めた。 ①10/20 第二永山団地 112 名 ②11/6 三区第二町内会 143 名 ③2/8 むつみ町内会 115 名	100,110 円	スープの冷めない“きずな”づくり実行委員会 (会長：橋坂いずみ)	
6 永山健康マイレージ事業	・食生活改善推進員・栄養士によるクッキング教室、歯科衛生士による口腔講話を4回開催（参加者計42名） ・旭川市立短大の学生が作成した栄養レシピを、イオン永山店に設置し、積極的に摂りたい栄養を周知。 ・参加者を対象に、抽選会を開催し、協賛企業の賞品を贈呈。（応募者128名）	70,000 円	永山健康マイレージ実行委員会 (会長：豊島琴恵)	

7 永山南きづな・ほのぼのバザー事業	・9/20、永山住民センターで、永山南きづな・ほのぼのバザーを開催 ・認知症当事者や障がい者が、商品の販売や赤い羽根共同募金の受付等を通じて、来場者と交流した。	49,519 円	永山南きづな・ほのぼのバザー実行委員会 (会長：桑島保夫)	・バザー売上収入は共同募金へ一部還元 ・地元の男山(株)、北かりからの協力・協賛の他、明治安田生命が骨密度・血管年齢測定など健康測定ブースを設置
8 永山南地域ボランティア養成事業	・除雪に焦点を当て、ボランティアの発掘と体制づくりに取り組んだ ・旭川永嶺高校アウトドア同好会と連携した高齢者等除雪困難者の除雪を実施	0 円	永山南ボランティア養成実行委員会 (会長：増田晃)	
9 永山魅力発見隊事業	・11/30、永山地区の4小学校5～6年生を対象に永山魅力発見ツアーを開催 ・会場 旭川農業高校 ・参加者 24 名 ・「乳しぼり体験とバター作り」「サツマイモタルト作り」「木工工作」「ハーバリウム制作」に分かれ体験。 ・参加児童、保護者にそれぞれアンケートを実施 ・ツアーを通じて発見した永山の魅力をチラシ・ポスターで発信	55,621 円	永山魅力発見隊実行委員会 (会長：塩尻曜子)	

○令和7年度 … 9事業

包括型まちづくり事業補助金9事業を実施した。

事業名称	事業内容	事業費(決算)	実行体制	備考
1 地域のオタスケマン事業	・10/30 に、町内会ボランティア活動、地域の見守り・防犯・交通安全等について、活動従事者が、永山西小3年生を対象に講話を行った。	0 円	地域のオタスケマン実行委員会 (会長：葛西輝明)	
2 令和 7(2025)年度「第39回永山屯田まつり」永山屯田まつり舞踊パレード交流活動事業	・屯田音頭事前練習及び舞踊パレードに、大学生、職員の希望者が参加し、旭川市立大学と市民委員会が交流した。 ・7/15、永山公民館で屯田音頭の事前練習を実施。 ・7/27、第39回永山屯田まつり舞踊パレードを実施。	0 円	永山屯田まつり舞踊パレード交流活動実行委員会 (会長：工藤芳美)	

	参加者 学生 24 名、職員 14 名 永山第二地区市民委員会 22 名			
3 まちづくりニュー ース作成事業	・各実行委員会が実施した活動実績をまとめた「永山まちづくり推進協議会NEWS」を 2,000 部発行 ・地域のチカラパネル展や市内各施設等に設置	15,149 円	まちづくりニュー ース作成実行委員会 (会長：桑島保夫)	
4 永山地区子ども の学習支援事業	・公民館音楽室で毎週月曜 日午後 3 時から 5 時まで、 大学生を中心とするボラン ティアが、自主学習を行っ ている児童・生徒等の見守 り、予習・復習、宿題の支援 を行った。	12,508 円	永山地区子どもの 学習支援実行委員 会 (会長：桑島保夫)	
5 スープの冷めな い“きずな”づ くり事業	・旭川市立大・短大部の料理 研究サークルの学生がメニ ューの作成と永山産の野菜 を中心としたスープを調理。 同大のサークル以外の 学生も加わり、町内会役員 やボランティアの協力の 下、高齢者世帯等へ宅配し、 交流を深めた。 ①10/19 第二永山団地 130 名 ②11/15 三区第四町内会 59 名 ③2/7 第一永山団地 62 名	85,421 円	スープの冷めない “きずな”づくり 実行委員会 (会長： 橋坂いずみ)	
6 永山健康マイレ ージ事業	・食生活改善推進員・管理栄 養士などによるクッキング 教室、歯科衛生士による口 腔講話、保健師による適正 体重講話を 3 回実施（参加 者 29 名）。 ・旭川市立短大の学生が作 成した栄養レシピをイオン 永山店に設置し、積極的に 摂りたい栄養を周知(7 種類 ×100 部)。 ・歯科医、歯科衛生士を講師 として防災×健口セミナー を開催し、緊急時や平時か らの口腔ケアの重要性につ いて講演を行った(参加者 41 名)。	81,000 円	永山健康マイレ ージ実行委員会 (会長：豊島琴恵)	

	・参加者を対象に、抽選会を開催し、協賛企業の賞品を贈呈(応募者 119 名)。			
7 永山南きづな・ほのぼのバザー事業	・9/12、永山住民センターで、永山南きづな・ほのぼのバザーを開催 ・認知症当事者や障がい者が、商品の販売や赤い羽根共同募金の受付等を通じて、来場者と交流した。	49,989 円	永山南きづな・ほのぼのバザー実行委員会 (会長：桑島保夫)	
8 永山魅力発見隊事業	・11/15、永山地区の4小学校 5～6 年生を対象に永山魅力発見ツアーを開催 ・会場 旭川農業高校 ・参加者 16 名 (小学生 11 名、保護者 5 名) ・旭川家具工業協同組合職員による旭川家具、クラフトについての講話と道産材を使用した木のスプーン作り、サツマイモムースタルトの調理体験を実施。最後に自分で制作したスプーンでタルトを試食した。 ・参加児童、保護者にそれぞれアンケートを実施 ・ツアーを通じて発見した永山の魅力をチラシ等で発信	30,831 円	永山魅力発見隊実行委員会 (会長：塩尻曜子)	
9 中学生と高齢者の合同演奏会事業	・10/5、永山中学校吹奏楽部とデイサービスを利用する高齢者が合同演奏会を開催 ・会場 永山公民館大ホール ・来場者数 250 名 ・第 1 部ではデイサービス生きる音の利用者が、第 2 部は全国大会へ出場した永山中学校吹奏楽部が演奏し、フィナーレでは、デイサービス利用者と来場者が、学生の演奏に合わせて歌って踊り、大いに盛り上がった。 ・幼稚園児、小学生もゲスト参加し、世代間交流もできた。	37,200 円	中学生と高齢者の合同演奏会実行委員会 (会長：橋坂いずみ)	